

動物実験に関する検証結果報告書

（北海道大学）



動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 24 年 3 月

平成 24 年 3 月 31 日

北海道大学総長  
佐伯 浩 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会  
動物実験に関する相互検証プログラム  
検証委員会委員長



対象機関：国立大学法人 北海道大学  
申請年月日：平成 23 年 8 月 19 日  
訪問調査年月日：平成 23 年 11 月 15 日  
調査員：主査 笠井 憲雪（東北大学）  
副査 下田 耕治（慶応義塾大学）  
佐加良 英治（兵庫医科大学）

#### 検証の総評

北海道大学は、我が国有数の規模を誇る総合大学であり、動物実験についても飼養保管施設は 14 部局の 54 施設が登録され、また承認された動物実験計画書数も過去 3 年間に 880 件にのぼる。多数の動物実験計画書を効率よく審査するために、全動物実験委員が審査する形で Web による審査システムが構築されており、またその審査内容も適正に実施されていることは、特筆すべき点である。一方、飼養保管施設や実験室の日常の管理方法は部局ごとに大きな差が見受けられる。大規模な機関であるため、その部局の状況に応じて、適宜全施設の状況を把握する方法や適正に維持する方法に工夫等を検討されたい。また、高いレベルの施設管理を行っている部局の方法を他部局施設にも広げるべく努力されたい。

## 検証結果

### I. 規程及び体制等の整備状況

#### 1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針に適合する学内規程として、「北海道大学動物実験に関する規程」が定められている。また、その解説書としての「動物実験実施マニュアル」が整備されていることで、実験実施者が容易に法令や規程を理解するための工夫がされている。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

#### 2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
基本指針に適合する動物実験委員会が設置されており、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験計画申請システムが Web 上に構築され、動物実験計画の新規申請、変更・更新、終了報告の手続きが定められている。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

### 4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「北海道大学遺伝子組換え実験等安全管理規程」「北海道大学病原体等安全管理規程」等、安全管理を要する動物実験の各種規程が整備されており、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 「飼養保管施設設置承認申請書」「実験室設置承認申請書」「施設等の廃止届」および「実験動物種等及び使用数報告書」が定められている。飼養保管施設の設置に際しては動物実験委員会が施設を調査し、機関内規程や飼養保管基準に適合しているか否かを判断し、総長により承認されている。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見 多数の動物実験計画書を効率よく審査するために、全委員が審査する形で Web による審査システムが構築されており、またその審査内容も適正に実施されている。機関の状況にあわせた意欲的な工夫として評価できる。
---

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 動物実験委員会による動物実験計画書の審査は Web により行われており、さらに各部局の委員が部局ごとにとりまとめるなど大規模な大学の審査体制としてよく機能している。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物実験の終了報告書の収集および飼養保管施設や実験室の審査承認後の維持には改善を要する。終了報告書（または経過報告書）を年度ごとに確実に収集するシステムおよび飼養保管施設や実験室を承認後もフォローアップするシステムの構築を検討されたい。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

動物実験計画書の審査、承認や変更等の手続きは基本指針に則して適正に実施されている。一方、動物実験計画書の有効期限が複数年であるとの理由で、各年度に終了する実験の数と終了報告書の提出割合を正確に把握されていなかった。よって、自己点検・評価の結果は概ね良好であるが、一部に改善すべき点があると判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

動物実験終了報告書（又は経過報告書）は、計画書の有効期限が複数年度であっても、各年度の動物実験が適正に行われているか否かの状況を把握し、毎年の自己点検評価の根拠資料となるため、年度ごとの提出を検討されたい。また、実施結果に対する点検・評価の方法も考慮されたい。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験が適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性 安全管理に関する各種規程は定められており、動物アレルギー等の緊急時対応も適切であり、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 整備されている安全管理に関する規程等の周知について、飼養保管施設や実験室にマニュアルを掲示するなどの工夫があるとよい。

#### 4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 各飼養保管施設では飼養保管マニュアルが定められ、その内容も実験動物飼養保管基準に適合していた。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

#### 5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 視察した飼養保管施設の維持管理状況に大きな差があり、一部の施設においては補修を要する箇所

所が散見された。よって、施設等の維持管理の状況について、概ね良好であるが、一部に改善すべき点があると判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

飼養保管施設や実験室の新設の際に、動物実験委員会による現地調査が行われているが、飼養保管施設だけでも 54 カ所あり、また設置場所も道内各地に散在しているため、これらを掌握し、適正に維持することは多くの困難を伴うと思われる。承認された飼養保管施設や実験室のその後の適切な維持のためには、動物実験委員会等による定期的なフォローアップが必要と思われる。そのためのシステムを確立されたい。また、補修を要する箇所に対して、早急に必要な措置を講じられたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

教育訓練は適正に実施されており、テキストの作成や実施記録も保存されている。よって、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。



2) 自己点検・評価の妥当性

訪問調査の時点では、今回の自己点検評価報告書は情報公開されていなかった。また、公開され外部からアクセスできるものは、規程と一部の申請様式のみであった。よって、自己点検・評価、情報公開について、概ね良好であるが、一部に改善すべき点があると判断する。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

自己点検・評価の報告書は自己点検・評価を行った後、速やかに情報公開すべきである。その他、公開可能な情報については積極的に公開されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

獣医学研究科では実験動物管理の国際的な認証制度である AAALAC International の認証を受けており、動物福祉の視点で高水準の管理が行われている。積極的な取り組みとして高く評価できる。今後、獣医学研究科が有する技術や経験を他の部局での管理に活用する方策も検討されたい。